産地ブランド発掘事業
取組概要
（H27～H28）

『繁殖・肥育農家が連携した県内一貫生産による博多和牛の肥育期間短縮・肉質向上とブランド力強化』 ＝福岡県＝

【全体概要】
県産ブランド「博多和牛」は、素牛導入先が県外がほとんどで繁殖農家と肥育農家の連携不足により肉質が悪く、知名度が低い。そのため、「博多和牛」のブランド力強化に向け、繁殖農家における素牛育成段階から肥育農家での飼養出荷までの飼養期間を通じた一貫的早期出荷技術の確立に取り組み、生産性向上を図る。

新品種・新技術等の概要

○博多和牛：H18に県のブランド化推進対象品目に指定
○規格：３等級以上の和牛

○肥育期間短縮・早期出荷技術（素牛育成）
・十分な代用乳給与量の確保（1kg以上）
・濃厚飼料（スターター）の先行給与
・育成期後半の粗飼料多給など
・６月齢から肥育農家で飼養管理

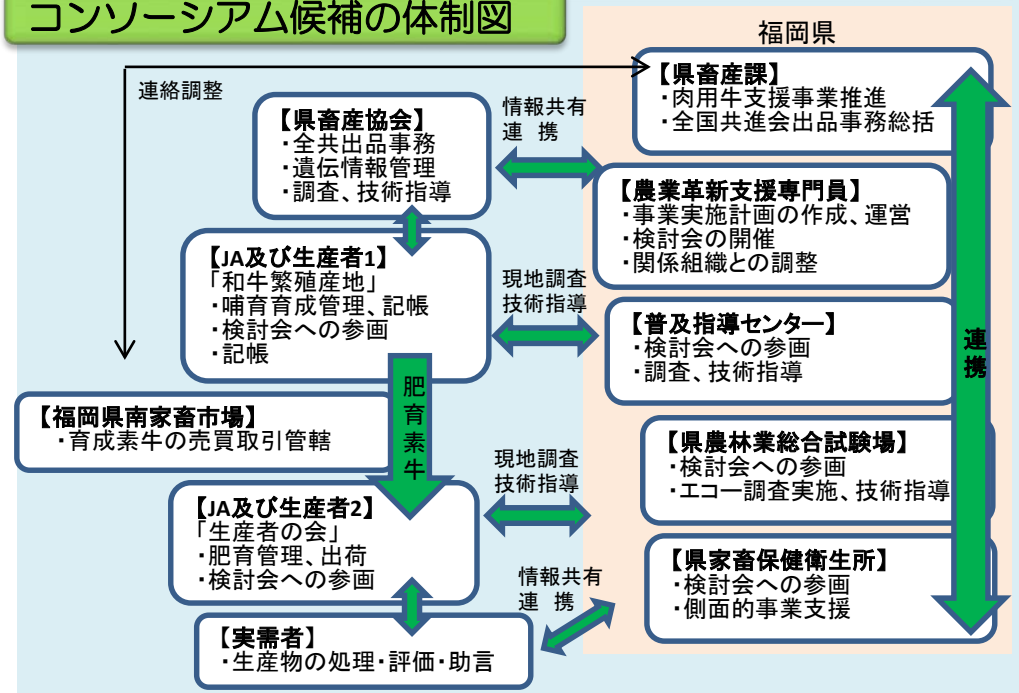
主な取組内容

【繁殖農家現地調査実施 】
早期育成技術検討のための繁殖農家飼養管理・発育調査

【肥育農家の早期肥育状況調査】
肥育期間短縮による中後期発育状況と出荷成績を調査分析

【県内向け子牛せりの開催】
博多和牛県内一貫生産を検討する早期育成子牛せり（6月齢）を開催

コンソーシアム候補の体制図



課題と今後の対応

・子牛の早期哺育育成技術について、濃厚飼料の先行給与、育成期後半の粗飼料多給などの有効性が確認された。2年目は、技術モデル農家を設置し、技術の確立を目指す。

・県内向けに販売導入された素牛について、引き続き肥育農家での発育状況について調査し、早期出荷と肉質向上を目指す。

・ブランド確立のためのコンソーシアム候補の連携強化。